

平成 29 年 6 月 1 日
都市局公園緑地部
動物公園
電話 252-7566

千葉市政担当記者 様

オーストラリアガマグチヨタカの一般公開を開始します

千葉市動物公園では、新しくオーストラリアガマグチヨタカの展示を開始しますのでお知らせします。

1 オーストラリアガマグチヨタカについて

(1) オス (写真右)

平成23年6月28日生まれ

(2) メス (写真左)

平成22年4月6日生まれ

2羽共に埼玉こども動物自然公園(埼玉県東松山市)より貸与受け



特徴

- ・名前の元になっている「ガマグチ」のような大きな口。
- ・身を守る為に、木の又に止まり体を伸ばし折枝に擬態する姿勢をとる。(写真左)

2 展示場所

動物科学館1階 夜行性獣舎

3 公開日時

平成29年6月1日(木) 9:30から

《参考》

○国内でのオーストラリアガマグチヨタカの飼育状況（平成28年12月31日現在）

国内の動物園・水族館（日本動物園水族館協会加盟園館）での飼育数は雄7羽、雌5羽、合計12羽、2施設（多摩動物公園（雄1羽、雌1羽）、埼玉こども動物自然公園（雄6羽、雌4羽））で飼育しています。

一般的特徴

分類 ヨタカ目（フクロウ目）

分布 オーストラリア

体長 35～50センチメートル。羽毛は、木の樹皮によく似た模様を有しています。分布域は、オーストラリアおよびタスマニアで、密生した森林および砂漠を除く、ほとんどあらゆる環境に生息します。夜行性で、日中は、体を伸ばして、木の枝に擬態する習性が特徴です。エサは主に夜行性の昆虫で、止まり木にとまって待ち伏せして捕食をしたり、ガなどは、飛翔して捕食します。一夫一妻制で、2～3個の卵を産みます。明け方の低気温時には、体温を下げてエネルギーを節約することができます。